

平成23年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会事業報告書

急速な少子高齢化や、古くから地域に根付いていた互助の精神の希薄化が進む中、地域社会のあり方が様変わりしてきています。また、社会情勢の変化により社協経営も年々厳しいものになっているため、安定した経営のできる強い社協への体質改善が求められています。

平成23年度は、外部有識者や役職員による経営改善会議を立ち上げ、専門的な見地、客観的な意見等を伺う機会を設け、平成23年1月に立ち上げた職員による経営改善内部プロジェクトチームを経営改善会議のワーキングチームに移行し、ワーキングチームの課題分析、試案をもとにさらなる検討を重ね、社会福祉協議会の目指すべき姿として、6つのポイントを掲げ経営改善の取り組みの方向性を定め、具体的な組織体制・事業実施体制の再編計画や、それを支える人材育成等について検討してきました。今後、地域からより一層信頼される社会福祉協議会になるため、長浜市社会福祉協議会の進むべき方向を内外に示し、実践していく指針として、これらの検討結果を「長浜市社会福祉協議会経営改善会議 報告書」としてまとめました。

また、市が策定される地域福祉計画に積極的に参画し、その市の計画に連携した「地域福祉活動計画」の策定に着手しました。行政機関、福祉関係機関団体、地域住民等が共通の地域福祉推進の理念のもと、それぞれの立場でまた連携・協働の中で地域福祉活動を推進する環境を整備し、即応性と実現性という性格をもち、より多くの住民の参加による地域福祉活動の展開を可能にする素地づくりを重視して「地域福祉活動計画」策定を進めています。

事業面におきましても「住民参加による地域福祉」「利用者本位」「サービスの質の向上」を活動理念として、誰もが市民の一人として住み慣れた家庭、地域で安心して、自分らしい自立した生活を送ることができる福祉社会づくりを目指し、地域福祉の推進とサービスの質の向上を図りながら、市民の皆様から信頼されるよう努めてまいりました。また、地域住民が主体となり組織されている地区社協が、地区の福祉課題を捉え、より具体的な福祉活動（事業）を展開し、その地域の特性を活かした地区社協事業の安定化、住民が主役となった福祉のまちづくりの推進、確立を図れるよう取り組みました。

今後におきまして、長浜市社会福祉協議会が、さらなる地域福祉の推進と創造を目指していくためには、経営改善会議で打ち出された方向性に基き、合併のスケールメリットを最大限に活かし、地域から信頼・支持される自立した社会福祉協議会へと改革を目指します。

以下、平成23年度の具体的事業等についてご報告いたします。

1. 法人運営事業

【理事会開催】

○平成23年 5月26日(木) (第2回)

- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- ・平成22年度 社会福祉法人 滋賀県共同募金会 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 評議員の選任同意について

○平成23年 6月 1日(水) (第3回)

- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 会長および副会長の選任について

○平成23年 7月 6日(水) (第4回)

- ・専決処分事項の承認を求めることについて
専決第1号 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 職員就業規則の一部改正について
- ・自家用有償旅客運送事業の見直しについて

○平成23年10月21日(金) (第5回)

- ・平成23年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算について
(しが地域支え合いづくり促進事業)

(報告)・経営改善会議経過報告について

○平成24年 3月 6日(火) (第1回)

- ・専決処分事項の承認を求めることについて
専決第1号 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 給与規程の一部改正について
- ・専決処分事項の承認を求めることについて
専決第2号 通所介護事業のサービス提供時間の変更について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 経営改善について

(報告)・「地域福祉活動計画」の取り組みについて

○平成24年 3月26日(月) (第2回)

- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 給与規程の一部改正について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 不能欠損処理規程の制定について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 定款施行細則の一部改正について
- ・平成24年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画(案)について
- ・平成24年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算(案)について
- ・平成24年度 社会福祉法人 滋賀県共同募金会 長浜市共同募金委員会 会計予算(案)について

【評議員会開催】

○平成23年 5月26日(木) (第2回)

- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- ・平成22年度 社会福祉法人 滋賀県共同募金会 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 理事の選任について
- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 監事の選任について

○平成23年 7月 6日(水) (第3回)

- ・自家用有償旅客運送事業の見直しについて

○平成23年10月21日(金) (第4回)

- ・平成23年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算について
(しが地域支え合いづくり促進事業)
(報告)・経営改善会議経過報告について

○平成24年 3月 6日(火) (第1回)

- ・社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 経営改善について
(報告)・通所介護事業のサービス提供時間の変更について
・「地域福祉活動計画」の取り組みについて

○平成24年 3月26日(月) (第2回)

- ・平成24年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画(案)について
- ・平成24年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算(案)について
- ・平成24年度 社会福祉法人 滋賀県共同募金会 長浜市共同募金委員会 会計予算(案)について

【監事会開催】

○平成23年 5月17日(火) (第1回)

- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成22年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- ・平成22年度 社会福祉法人 滋賀県共同募金会 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について

○平成23年12月 1日(木) (第2回)

- ・平成23年度(前期分) 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成23年度(前期分) 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

【財政基盤の確立】

- 一般会費： 415自治会他 12,204,050円
- 特別会費： 253件 1,051,500円

【経営改善会議開催】

- 第1回 平成23年 8月 5日 (金) 午前9時30分から
(報告) ・経過報告・スケジュールについて
・ワーキングからの課題報告

- 第2回 平成23年 9月30日 (金) 午後1時30分から
(提案・協議) ・経営改善計画の方向性 (事務局試案)

- 第3回 平成23年11月22日 (火) 午後1時30分から
(提案・協議) ・介護事業訪問系事業所拠点集約 (事務局修正案) について
・経営改善会議 平成23年度報告書 (事務局素案) について

- 第4回 平成24年 2月24日 (金) 午後1時30分から
(報告) ・平成24年度介護報酬の改定について
(提案・協議) ・経営改善会議報告書について

2. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動支援

【地域福祉活動計画の策定準備】

地域住民や福祉関係機関・団体、ボランティア団体、当事者組織等が互いに連携し、今後の長浜市の地域福祉の進むべき方向性を共有して、地域住民・団体・組織が地域福祉推進の役割を担っていくことを目的として、平成24年度より策定に取り組む地域福祉活動計画のための地域懇談会や学識経験者との打ち合わせ、職員研修会を行いました。

長浜市が策定を進める長浜市地域福祉計画 (行政計画) と連携した地域福祉活動計画を策定することで、行政機関、福祉関係機関団体、地域住民等が共通の地域福祉推進の理念のもと、それぞれの立場で、また連携・協働の中で地域福祉活動を推進する環境整備を目指します。

○内 容

■地区懇談会

開催日	対象地域	参加者	内容
H23. 12. 08(木)	伊香地域	18名	地域からみた地域課題と方向性の検討
H23. 12. 20(火)	長浜地域	19名	〃
H23. 12. 20(火)	東浅井地域	16名	〃
H24. 03. 17(土)	全域	31名	研修会「住民みんなで取り組む地域福祉活動」

■職員ワーキンググループとアドバイザー等との協議

開催日	内容
H24. 01. 13(金)	地域福祉活動計画策定の方向性を検討
H24. 02. 17(金)	地域福祉活動計画策定方法の協議

■職員研修会

開催日	内容
H24. 03. 12(月)	地域福祉活動計画策定の研修会、策定方針の協議

【地区社協支援事業】

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基幹的福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

- 地区社協設置数 15地区
- 事業費助成 15地区 113事業
- 会議・研修会の実施
 - H23. 05. 06(金) 地区社協会長・事務局合同会議
 - H23. 08. 10(水) 地区社協会長・事務局合同会議
 - H22. 11. 26(土) 地区社協会長会議 先進地視察研修
～第5回全国校区・小地域福祉活動サミット in 宇治～
 - H23. 12. 13(火) 地区社協会長会議

※参考資料：各地区社協活動推進事業 概要一覧 P30～P46

【福祉委員支援事業】

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

○福祉委員研修会の開催

日時	開催地区	テーマ・内容
H23. 06. 25(土)	神照地区 (祇園元自治会)	「福祉委員の必要性と見守り活動事例紹介」 (講師) 長浜市社会福祉協議会職員
H23. 07. 17(日)	木之本地区	「草津学区の福祉委員の取り組みについて」 (講師) 草津学区社協会長 草津学区ひとまちいきいき協議会 会長 田中 千秋 氏
H23. 11. 20(日)	西浅井地区 (集福寺自治会)	「救急救命講習会」 (講師) 湖北地域消防本部
H23. 11. 22(火)	高月地区	「災害ボランティアセンターと地域の力」 (講師) 長浜市社会福祉協議会職員
H23. 12. 09(金)	余呉地区	「福祉委員の役割について」 (講師) 高月地区社協 会長 七里 藤吾 氏

※木之本・高月・余呉地区は市社協、地区社協共催にて開催

【地域での見守り活動の推進（避難支援・見守り支えあい事業）】

地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、市の災害要援護者支援対策と連携を図り、ひとり暮らしの高齢者やしょうがい者世帯など見守りの必要な要援護者を地域住民、自治会、民生委員児童委員等との協働により把握するとともに、近隣住民の日常の見守り体制を構築し、災害時などの不測事態や要援護者の日常生活に対する支援体制の構築を推進しました。

- 市避難支援・見守り支えあい制度登録件数 3, 190件(H24. 03. 31 現在)
- 各地区推進計画の実施 10地区
(長浜・六荘・南郷里・びわ・虎姫・湖北・高月・木之本・余呉・西浅井地区)

○地域見守り支えあい支援啓発事業の開催

日時	開催地区	テーマ・内容
H23. 06. 29(水)	びわ地区	サロン交流会：日常の近隣の見守りについて概要説明
H23. 07. 03(日)	長浜地区 (第7連合自治会)	自治会長・民生委員合同福祉懇談会：社会福祉課による見守り支えあい制度概要説明と東日本大震災現地報告及び地域活動紹介
H23. 07. 08(金)	高月地区	福祉委員勉強会：社会福祉課による見守り支えあい制度概要説明と西浅井集福寺の事例報告
H23. 07. 21(木)	西浅井地区	災害にもつよい地域づくり勉強会：社会福祉課による見守り支えあい制度概要説明と西浅井集福寺の事例報告
H23. 11. 20(日)	西浅井地区 (集福寺自治会)	「救急救命講習会」 (講師) 湖北地域消防本部
H23. 07. 30(土)	木之本地区	つながりで災害に負けない地域づくり研修会：社会福祉課による見守り支えあい制度概要説明と赤尾自治会の事例報告

【災害支援活動ネットワーク事業】

地域内のさまざまな組織や団体・企業などが協働で、防減災の活動を通じて平常時から円滑な関係をつくり、相互の役割の理解を深め、地域防災に関する研修・啓発、減災活動、地域住民向けの広報誌などの発行を行いました。

【虎姫地区】

○全体会 全3回

- 第1回 ■日 時 平成23年 7月26日(火)
 ■テ ー マ 「災害時のネットワーク 情報の共有を考える」
 ～東日本大震災の現地活動報告から～
 ■内 容 被災地での活動事例報告(長浜消防本部東浅井分署・湖北健康保健事務所・長浜市社会福祉協議会虎姫支所)
 ■参加者数 20団体37名
- 第2回 ■日 時 平成23年 9月27日(火)
 ■テ ー マ 「組織力を活かして、受援力を高めよう！」
 ～災害ボランティアセンターのニーズから～
 ■内 容 高島市社会福祉協議会の福島県社協支援事例から
 ■参加者数 16団体25名
- 第3回 ■日 時 平成24年 2月27日(月)
 ■テ ー マ 「ネットワークを活かそう！」
 ■講 義 湖北タウンホーム 所長 伊吹学氏
 ■参加者数 16団体21名

○部会

- みずすまし部会 : 河川清掃と防災啓発 メンバー8名
 ◇視察受入 平成23年 4月13日(水)(JICA)
 平成24年 3月16日(金)(愛荘町ボランティア協議会)
 ◇研 修 会 平成23年11月 8日(火)(姉川ダム見学)
 ◇河川清掃活動 H23. 10. 26(水)(姉川)参加者38名参加(一般ボランティア含む)
 ◇広報の発行 5月、2月

【余呉地区】

- 勉強会 ■日 時 平成23年 5月25日(水)
■内 容 余呉地区の現状や目指す方向性、取り組み方法について
■参加者数 10名(福祉の会役員他)
- 研修会 ■日 時 平成23年 7月12日(火)
■研修場所 名古屋市港防災センター(煙体験・地震体験など)
■参加者数 23名(福祉の会委員等)
※余呉福祉の会共催

【ふれあい電話事業】

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認・生活相談を行うことで社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

- 実施内容 ①福祉ニーズの把握(悩み、不安、健康状態、福祉サービス等)
②安否確認、③近親者、知人友人、近隣者との交流状況の相談・確認
- 実施日時 毎週水・木曜日
10時～11時50分 89日間
- 通話者 ボランティア 18団体
- 対象者 120名(世帯)
- 通話件数 延べ1,797件
- 研修会 ■開催日:H23.08.30(火) 内容:講演会「消費者トラブル110番」
講師:全国消費生活相談員協会 相談員 畑山三津子氏
■開催日:H23.11.24(木) 内容:切り絵で彩る年賀状づくり

【ふれあいサロン支援事業】

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。地域で暮らす人々が気軽に集まれるサロンを通じて、地域の交流を深めるとともに、住民の地域福祉に対する意識の向上に努めました。

- 助成団体数 137団体
- 新規取り組み団体数 7団体
- 開催回数 1,559回
- サロン交流・研修会の開催

地区	期日	主な内容等	参加者数
西浅井地区	H23.11.02(水)	体操と回想法	37名
神照地区	H23.12.03(土)	体操と回想法	31名
木之本地区	H23.12.03(土)	体操と回想法	36名
虎姫地区	H24.01.25(水)	体操と回想法	25名
湖北地区	H24.02.13(月)	体操と回想法	30名
浅井地区	H24.03.20(火)	体操と回想法	58名
高月地区	H24.03.21(水)	体操と回想法	50名

【広報紙の発行】

福祉関係の情報提供や社会福祉協議会の取り組み等を周知することで、市民の福祉意識の醸成と社会福祉協議会に対する理解、協力を得ることを目的として、広報紙の発行とホームページの運営を行いました。

○広報紙の発行

■社協ながはま

発行回数：年4回（5月・7月・10月・2月号）

発行部数：41,600部

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

発行回数：毎月1回

（4月・6月・8月・9月・11月・12月・1月・3月は回覧 発行部数：4,600部）

（5月・7月・10月・2月は社協ながはまに掲載）

■ボランティアセンターだより「ランティーンちゃん はーい」

発行回数：年2回（4月・2月号）

発行部数：200部

○ホームページの運営（アドレス<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>）

○広報紙「社協ながはま」広告企業の募集 6団体・法人 ※新規1法人

【福祉活動団体の支援】

市内で活動する福祉団体に対して福祉事業費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体 6団体

○支援事業数 8事業

■長浜市民生委員児童委員協議会

■長浜市手をつなぐ育成会

■長浜市老人クラブ連合会

■長浜市母子福祉のぞみ会

■小中学校教育研究会特別支援教育部会

■滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック

◇市民児協運営事業

◇知的しょうがい児者交流事業

◇スポーツ大会

◇地域友愛事業

◇母と子のふれあい広場

◇特別支援学級合同学習会

◇特別支援学級学用品整備事業

◇滋賀県私立保育園絵画展（湖北ブロック）

【歳末たすけあい運動】

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員児童委員、福祉関係機関・団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいやささえあいの活動を広げることを目的として地域福祉事業の推進に努めました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食糧品給付事業	生活困難者向け食糧品の購入および給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級等生徒 434名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 113名
日常生活支援事業（年末掃除支援）	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 230件

おせち料理配食事業	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 1,132件
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 30団体
ボランティア団体活動支援事業	市内で活動するボランティア団体 22団体
福祉対象者交流会（養護学校クリスマス会）	長浜養護学校の小学部 200名

【しょうがい者等交流事業（療育レクリエーション）】

しょうがい者とその家族および福祉関係者やボランティアが行事を通して交流を深めることで、しょうがい者とその家族が地域で孤立することを防止し、日頃から相談できる関係の構築を図ることを目的に実施しました。

開催日	開催場所	内容	参加者数
H23.06.10(金)	湖北福祉ステーション	交流会、レクリエーション	144名

※長浜市手をつなぐ育成会共催事業

【しょうがい者等交流事業（しょうがい者余暇支援事業 ～料理サロン～）】

しょうがい者の余暇充実と、将来の生活に備え簡単な料理を学ぶ「料理サロン（生活訓練）」を通じて日常生活の充実を図り、地域ボランティアと関わることで地域との結びつきを深めることを目的に開催しました。

○実施日 毎月第3土曜日 午前9時30分～午後1時30分まで

○登録者 15名（H24.03.31現在）

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア者数
木之本福祉ステーション	10回	75名	26名

【しょうがい者等交流事業（しょうがい者余暇支援事業 ～陶芸教室～）】

しょうがい者のペースに併せた趣味講座を持つことで、余暇活動を充実させるとともに、講座受講後も自分にあった余暇の過ごし方を見つけるきっかけづくりや、同じ目的で出会う当事者同士の仲間づくりを目的として実施しました。

○開催日および参加状況

開催日	開催場所	内容	参加者数
H23.07.10(日)	湖北公民館	陶芸・交流会	14名
H23.08.07(日)	長浜市社会福祉センター	陶芸	16名
H23.09.23(祝)	湖北デイサービスセンター	陶芸	13名
H23.10.16(日)	長浜市社会福祉センター	陶芸	13名
H23.11.20(日)	湖北公民館	陶芸	11名
H23.12.23(祝)	湖北デイサービスセンター	陶芸・交流会	13名

【しょうがい者等交流事業（しょうがい児者保護者交流事業）】

市内在住のしょうがい児者の保護者を対象として、孤立感を少しでも緩和し、気軽に相談し合える仲間（ネットワーク）づくりができること、また親子でいろいろな「物作り体験」を通して子どもさんの生活が豊かになることを目的に、研修会や体験教室を開催し交流を図りました。

開催日	内 容	開催場所	参加人数
H23. 07. 12(火)	研修会「共に寄り添って生きる」 講師 NPO法人C I Lだんない 代表 美濃部 裕道 氏 美濃部 真弓 氏	湖北福祉ステーション	23名
H23. 09. 24(土)	親子体験教室 「うどん作り」	木之本福祉ステーション	16名
H23. 11. 23(祝)	親子体験教室 「クリスマスリース作り」	びわ高齢者福祉センター	11名
H23. 12. 03(土)	講演会「みんな普通の子、みんな奇跡の子」 ～生まれてきてくれてありがとう～ 講師 林 智子 氏	びわ高齢者福祉センター	43名
H24. 02. 25(土)	親子体験教室 「ちらし寿司と五平餅」	高月福祉ステーション	19名

【しょうがい者交流事業（おもちゃ図書館）】

就園前のしょうがい児、および幼児を対象におもちゃとのふれあいを通じ、子どもの豊かな発想と発育の支援、保護者とボランティアを含め交流を図ることを目的に実施しました。

○虎 姫 毎月第2・3水曜日 午前9時30分～11時30分まで

○木之本 毎週月曜日 午前9時30分～11時30分まで

開催場所	開催回数	延べ参加人数(親子)	延べボランティア者数
保健センター虎姫分室	24回	164名	26名
木之本福祉ステーション	47回	413名	58名

【しょうがい者等交流事業（元気クラブ）】

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援および仲間づくりを目的として湖北地域しょうがい者支援センター「ほっとステーション」との共催で開催しました。

○開内容および参加者数等

内 容	実施回数	延べ参加者数
事務会議	6回	109名
外出・社会見学（黒壁・ブルーメの丘 等）	7回	167名
スポーツ（長浜ツーデーマーチ・ビーチバレー・卓球 等）	9回	153名
調理実習	2回	45名

※湖北地域しょうがい者支援センター共催

【在宅介護者のつどい事業】

在宅で介護している方を対象に、日頃の悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、福祉政策の適切な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

内 容	開 催 日	場 所	参加者数
フラワーアレンジメントと食事会（弁当）	H23. 06. 24（金）	北部ステーション	16名
認知症勉強会と食事会	H23. 07. 19（火）	びわ高齢者福祉センター	16名
料理勉強会とマッサージ	H23. 07. 22（金）	高月福祉ステーション	7名
認知症勉強会と食事会	H23. 08. 03（水）	保健センター虎姫分室	17名
体操でリフレッシュ	H23. 09. 27（火）	長浜市社会福祉センター	9名
日帰り旅行（栗拾い）	H23. 10. 13（木）	マキノピックランド	40名
料理教室（おせち料理）と食事会	H23. 11. 04（金）	浅井福祉センター	10名
コーヒーの入れ方と茶話会（交流）	H23. 11. 29（火）	西浅井福祉ステーション	9名
フラワーアレンジメントと茶話会	H23. 12. 07（水）	保健センター虎姫分室	6名
おでかけ（盆梅展）	H24. 02. 22（水）	慶雲館	14名
介護経験者の体験談	H24. 03. 07（水）	湖北デイサービスセンター	36名
ピラティスと食事会（EXIVでバイキング）	H24. 03. 24（土）	北部ステーション	8名

【ふれあい備品助成事業】

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

- 助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成
1自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内
- 助成団体数 46自治会

【ふれあい用具貸出事業】

自治会など地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出しし地域交流の増進に努めました。

○ふれあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	95 件	綿菓子機	108 件
鉄板	56 件	かき氷機	74 件
たこ焼き機	30 件	串焼き機	4 件
焼き鳥機	5 件	クレープ焼き機	1 件
網焼き機	4 件	着ぐるみ	32 件
サンタクロース衣装	5 件	プロジェクター	54 件
スクリーン	34 件	教材ビデオ	18 件
テント	57 件	長机	14 件
パイプ椅子	5 件	布絵本	5 件
車いす (学習用等)	5 件	カラオケセット	2 件
ビンゴゲーム機	14 件	その他	28 件
マイク・アンプ	27 件	輪投げ	62 件
鍋等調理器具	14 件	レクリエーション用各種ゲーム	226 件
ガス炊飯器	6 件	合計	985 件

【福祉用具・介護用車両貸出事業】

在宅の高齢者やしょうがい者へ介護用ベッドや車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。また、外出支援として、在宅で生活する高齢者や、しょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

○福祉用具の貸出台数

機 器 名	貸出台数
介 護 用 ベ ッ ド	36 台
車 い す	242 台

○車いす移送用車両の貸出回数 184 回

【地域支え合い促進事業】 (市補助事業・市受託事業)

長浜市からの補助事業および受託事業として、高齢者世帯、しょうがい者世帯などで社会のつながりや日常生活支援が必要な人を支えるために、システム構築や設備整備および研修等を実施しました。

- 要援護者支援システムの導入
- 福祉車両・除雪機の整備
- 地域支え合い研修会の開催

【社会福祉大会】

市民の福祉に対する意識の向上を目的として福祉講演会を開催するとともに、福祉作文の表彰および発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示等を行いました。

また、社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して、感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

○開催日時 平成23年12月18日（日）9時00分～

○開催場所 浅井文化ホール

○内 容

■ウエルカムコンサート

■社会福祉功績者表彰式

◇会長表彰 【個人】：17名 【団体】：7団体

◇感謝状 ○事業活動の部

【個人】：15名

○善意銀行の部

【個人】：8名 【団体】：4団体

■福祉作文表彰・発表

◇小学生の部 5名 ◇中学生の部 2名

■市民福祉フォーラム

◇基調講演

講 師：長浜市地域福祉計画策定員長・滋賀県立大学教授

大橋松行氏

テーマ：「住み慣れたまちで誰もが安心して暮らせる地域づくり」

◇地域での取り組み事例の紹介～笑顔を支え、笑顔に支えられ～

■各種展示等

◇ボランティア団体・地区社協活動紹介パネル展示コーナー

◇赤い羽根共同募金コーナー ◇福祉作文紹介パネル

◇被災地支援活動パネル

◇ふくしの相談コーナー（ボランティア、地域活動、介護等）

◇しょうがい者作業所による販売

【ワークキャンプ支援事業】

限界集落での地域課題緩和を目的として、若年層ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

実施期間	実施地区	支援内容	参加者数
H23.08.23(火) ～H23.08.27(土)	余呉町 摺墨・中河内・菅並地区	田んぼ水路、側溝の泥上げ・草刈	24名
H24.02.04(土) ～H24.02.06(月)	余呉町 摺墨・中河内・菅並地区	除雪作業	22名

【福祉出前講座】

市民団体等が主催する集会等に職員を派遣して講座等を行い市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（職員の派遣）

日付	依頼元	内容
H23. 06. 25(土)	祇園元自治会（福祉委員）	日常における見守り支援の重要性について
H23. 06. 29(水)	大井自治会（大いちょうの会）	災害講座（東日本大震災の派遣で感じたこと）
H23. 07. 03(日)	第7連合自治会	東日本大震災現地報告と地域の活動紹介
H23. 08. 18(木)	宮部自治会サロン	災害講座（防災豆知識クイズ）
H23. 09. 07(水)	特定非営利活動法人 ハーモニー	しょうがい児者の親サロン「成年後見について」
H23. 10. 30(日)	唐国自治会 避難訓練	防災豆知識クイズ
H24. 02. 10(金)	五村自治会サロンボランティア	サロンボランティアについて振り返り
H24. 02. 28(火)	滋賀県社会福祉士会（湖北）	就労支援を目的とした生活福祉資金貸付事業について

（2）生活相談支援

【地域福祉権利擁護事業】

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

【援助内容】

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理
- 書類等預かりサービス

	認知症高齢者	知的しょうがい者	精神しょうがい者	合計
利用者数 (H24. 03. 31 現在)	75 名	64 名	28 名	167 名
新規利用件数	13 名	3 名	7 名	23 名
利用終了件数	21 名	2 名	4 名	27 名
相談援助回数	2, 457 回	2, 416 回	1, 397 回	6, 270 回

【成年後見事業】

判断能力が不十分で、法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方を、地域社会の中でその権利を擁護し、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行うことで、安定した生活を維持することを目的として、社会福祉協議会が成年後見人、補助人となることにより利用者本人の権利擁護に努めました。

○内 容

■成年後見業務

- ①財産管理
- ②身上監護
- ③その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等

○受任件数

	受任件数 (H24.03.31 現在)	終了件数
成年後見	1件	1件
補助	1件	0件

【よろず相談事業】

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時

会場	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時～午後4時
	毎週木曜日	午前9時～午後12時
浅井福祉センター	7月より毎月第1金曜日	午前9時～午後12時
保健センター虎姫分室	毎月第1月曜日	午前9時～午後12時
湖北デイサービスセンター	毎月第4水曜日	午前9時～午後12時
市役所高月支所	毎月第2水曜日	午後1時～午後4時
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前9時～午後12時
保健センター余呉分室	毎月第1金曜日	午後1時～午後4時
保健センター西浅井分室	奇数月第2火曜日	午後1時～午後4時
西浅井公民館	偶数月第2火曜日	午後1時～午後4時

○相談実績

区 分	開催日数	相談件数	
1. よろず相談	①一般相談	130日	58件
	②常設相談	191日	283件
2. 法律相談	12日	72件	
合 計	333日	413件	

○相談員研修会の開催

- 開催日時 平成23年 7月13日(水) 午前10時～
- 開催場所 長浜市社会福祉協議会 湖北支所
- 内 容 『よろず相談員初任者研修会』
講師：よろず相談常設相談員 西川満 氏
滋賀県社会福祉協議会 猪飼立子 氏

【生活福祉資金】

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付および生活相談を行うとともに、民生委員児童委員の指導、援助を受けることにより、経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を行いました。

- 新規貸付件数 129件
 - 総合支援資金 66件
 - 福祉資金・教育支援資金 63件

- 年度末貸付件数 752件
 - 総合支援資金(離職者支援資金) 310件
 - 福祉資金・教育支援資金 435件
 - 不動産担保型生活資金 1件
 - 臨時特例つなぎ資金 6件

【たすけあい資金貸付事業】

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

- 新規貸付件数 90件
- 新規貸付額 3,380,000円
- 年度末貸付件数 152件
- 年度末貸付額 4,671,744円

【緊急食糧品給付事業】

低所得世帯等で緊急的に食糧給付が必要な世帯に対し食糧品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。

- 給付件数 43世帯

(3) ボランティア支援

【ボランティアセンター事業】

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発に努めました。

- ボランティア登録団体数 207団体 (H24.03.31 現在)
- ボランティアコーディネーター件数
 - ボランティア相談件数 380件
 - ボランティア派遣回数 99回
- ボランティア助成団体数 93団体
- ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	講座回数	受講者数 (延べ)
◆夏休みジュニアボランティア講座 (車いす体験)	○市内大型量販店での車いす体験講座 ○盲導犬センター	3回	80名
◆初級手話教室	○手話の基礎研修 (昼コース・土曜コース・夜コース)	8回 (3会場)	90名
◆レクリエーション講座	○小地域サロン活動等に役立つレクリエーションの習得講座	3回 (3会場)	161名
◆傾聴ボランティア講座	○「聴く」ことへの理解を深める	5回	264名
◆同行援護従事者講座	○視覚しょうがいについての基礎知識 ○ガイドヘルパー養成	5回	110名
◆同行援護従事者講座フォローアップ	○視覚しょうがい者の方を実際に誘導	1回	16名

- ボランティア連絡協議会への支援 7団体 (地区)
- ボランティア保険取扱件数 4,025件
- 東日本災害支援ボランティア活動者支援
 - 保険受付
 - 相談・現地との調整 3件
- 東日本災害支援 同行
 - 長浜市長浜ボランティア連絡協議会 H23.08.26(金)～H23.08.29(月)
 - 長浜市浅井ボランティア連絡協議会 H23.10.28(金)～H23.10.31(月)

【福祉教育支援事業】

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。

- 支援学校数 32校（市内小中学校および養護学校）
- 学習プログラム支援 289回

■主な学習プログラム

- ◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ
- ◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験
- ◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 他

（４）地域介護支援事業

【生活機能低下予防教室「ひまわり」】（市受託事業）

要支援・要介護状態になることが心配される高齢者（特定高齢者）に対し、定期的な外出の機会をもつことで閉じこもりを予防し、心身の運動機能等の向上を目的としたレクリエーション等を実施し介護予防に努めました。

○開催場所および期日

会場	開催日	会場	開催日
西部福祉ステーション	第2・4金曜日	北部福祉ステーション	第2・4木曜日
東部福祉ステーション	第2・4月曜日	東部福祉ステーション	第1・3金曜日
びわ高齢者福祉センター	毎週水曜日 (月4回)	びわ高齢者福祉センター	毎週月曜日 (月4回)
浅井福祉センター	毎週水曜日 (月4回)	浅井福祉センター	毎週火曜日 (月4回)
上草野公民館	毎週木曜日 (月4回)	保健センター虎姫分室	毎週月曜日
保健センター虎姫分室	毎週金曜日	湖北デｲｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	毎週火曜日
湖北デｲｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	毎週木曜日	湖北デｲｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	毎週金曜日
高月福祉ステーション	毎週火曜日	木之本福祉ステーション	毎週火曜日
保健センター余呉分室	第1・3水曜日	西浅井デｲｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	毎月1・3金曜日

- 開催回数 647回
- 利用者数 183名
- 延べ利用者数 4,518名
- グループ数 18グループ

【転倒予防教室】 (市受託事業)

要支援・要介護状態になることが心配される高齢者（特定高齢者）や地域の一般高齢者に対し、特に下肢の運動器の機能向上を図ることにより要介護状態への移行防止に取り組みました。

実施自治会 (地区)	実施期間	参加者数	延べ参加者数
南田附西 (南郷里)	H23. 09. 01～H23. 12. 08	20名	160名
北新東 (神照)	H23. 06. 09～H23. 09. 08	29名	287名
北新西 (神照)	H23. 06. 15～H23. 09. 16	17名	126名
浅井高原 (浅井)	H23. 10. 26～H24. 02. 22	14名	133名
中浜 (びわ)	H23. 10. 26～H24. 02. 22	15名	132名
大安寺 (湖北)	H23. 06. 30～H23. 09. 29	21名	162名
東阿閉 (高月)	H23. 06. 07～H23. 09. 06	30名	350名
木之本 (木之本)	H23. 07. 06～H23. 10. 12	26名	243名
下余呉 (余呉)	H23. 07. 01～H23. 10. 21	32名	304名
東野 (余呉)	H23. 07. 01～H23. 10. 14	19名	221名
黒山 (西浅井)	H23. 08. 23～H23. 11. 22	16名	177名
沓掛 (西浅井)	H23. 08. 26～H23. 11. 25	21名	211名

【介護あんしん窓口事業】 (市受託事業)

長浜東部福祉ステーションおよび長浜北部福祉ステーションにて、在宅で介護等を必要とする高齢者やその家族に対して、総合的な相談に応じ在宅での生活を支援しました。

○介護あんしん窓口 郷里荘

相談件数	延べ542件	市事業協力	
相談実人数	465名	・出前講座	6回
実態把握調査	447回	・介護あんしん窓口だより発行	年5回
転倒予防教室	1教室 各14回	・生活機能評価基本チェックリスト	13回
家族介護教室	2教室 各1回	・住宅改修理由書作成	10回
		・外出支援事業協力	11回
		・介護予防アセスメント	5件

○介護あんしん窓口 ふれあい神照

相談件数	延べ469件	市事業協力	
相談実人数	334名	・出前講座	5回
実態把握調査	303回	・介護あんしん窓口だより発行	年7回
転倒予防教室	2教室 各14回	・生活機能評価基本チェックリスト	10回
家族介護教室	2教室 各1回	・住宅改修理由書作成	14回
		・外出支援事業協力	12回
		・介護予防アセスメント	10件

3. 在宅介護サービス

介護保険制度、障害者自立支援法による在宅サービス事業の提供を行いました。

事業全般に要介護利用者から要支援利用者への移行がみられ、地域の予防事業の受け皿機能を求められていることがうかがえますが、それぞれに特色あるサービスを早急に構築し利用増員を図る必要性を痛感いたしました。

また、事業によっては、小規模人数で実施していることから起こりうる独自性がサービス展開を阻んでくる可能性があることから、経営改善会議で検討されている事業所集約に向け取り組む必要性が明確になってきました。同時に地域福祉をすすめる社会福祉協議会が介護事業を行う基本理念を再認識し、職員意識改革への取り組みも急がれるところです。



【居宅介護支援事業】

○居宅介護支援事業（介護保険事業）

○介護予防支援事業（市受託事業）

介護保険制度による介護サービスを受ける際必要となる居宅介護支援計画（ケアプラン）並びに介護予防支援計画の作成を行いました。

住み慣れた自宅での介護全般に関する相談に応じ、サービスの総合的、効果的利用を提案し、必要な機関、介護サービス事業との連絡、調整を行いました。

総体的にケアプラン件数の増加はあるものの、内訳では居宅介護支援計画数が減少している反面、介護予防支援計画依頼件数の増加傾向がみられます。

居宅介護支援専門員の小規模人数配置での情報共有が行われやすい反面、閉鎖性が強くなりやすいデメリットを早急に解決することが求められます。

（単位：件・延べ件数）

区 分	本部 居宅	東部	北部	浅井	びわ	虎姫	湖北	高月	木之本	余呉	西浅井
常勤換算	1.8名	1.6名	1.5名	2.7名	2.4名	2.0名	3.0名	3.0名	3.0名	1.8名	2.8名
居宅介護 支援事業	578	431	383	765	806	502	1,181	945	1,135	619	992
介護予防 支援事業	95	17	87	103	142	16	186	86	41	77	149

【通所介護事業】

○通所介護事業・予防通所介護事業（介護保険事業）

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者に、入浴、機能訓練などの各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減にも心がけ事業を行いました。

介護・介護予防サービスともに全体として利用人数の減少がみられ、安定したサービスの質の確保と特色ある内容を明確に打ち出すことが求められています。

（単位：名）

区 分		東部	北部	浅井	びわ	虎姫	湖北	高月	木之本	西浅井
定 員		30	30	30	25	20	25	30	30	35
営業日数		305日	305日	304日	305日	305日	305日	305日	304日	305日
延 利 用 者 数	介 護 サービス	6,617	5,913	5,584	5,550	4,593	5,438	7,540	6,344	5,306
	介護予防 サービス	1,252	1,337	463	597	731	479	302	689	1,193

【訪問介護事業】

○訪問介護事業・予防訪問介護事業（介護保険事業）

○居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業（障害者自立支援法）

介護の必要な高齢者やしょうがいのある方へ自立した日常生活が送れるよう食事・入浴・排泄等の身体介護、炊事や洗濯、掃除などの生活援助を一人ひとりの身体の状況に応じ提供しました。

○しょうがい者等移動支援事業（市受託事業）

しょうがいがある方の自立生活と社会参加の促進を図るため、外出時に必要な移動支援を行いました。

○生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

介護保険における要介護・要支援の認定はされないが、在宅での自立した生活が困難な高齢者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）が訪問し、生活への指導、援助を行いました。

○有償運送事業

高月、木之本、余呉、西浅井の地域に居住し、公共交通機関が利用できない要介護認定者およびしょうがいのある方に木之本を拠点とした有償運送を行いました。

(単位：回)

区 分		長浜	虎姫	湖北	高月	木之本	余呉	西浅井	
介護保険事業	介護サービス	身体介護	11,022	1,295	3,136	3,094	2,377	2,603	6,332
		生活援助	7,290	1,274	0	3,774	2,570	1,079	1,413
		身体・生活	2,351	86	311	2,121	608	84	217
		延訪問回数	20,663	2,655	3,447	8,989	5,555	3,766	7,962
	介護予防サービス (延訪問回数)	3,617	926	124	276	858	213	647	
	延訪問回数 合 計	24,280	3,581	3,571	9,265	6,413	3,979	8,609	
自立支援事業	身体介護	5,067	31	1,351	25	961	333	27	
	家事援助	2,086	494	4	362	703	137	124	
	通院介助	537	0	0	51	174	13	0	
	延訪問回数	7,690	525	1,355	438	1,838	483	151	
市受託事業	生活管理 指導員 派遣事業	延利用者数	0名	12名	0名	0名	0名	0名	0名
		延訪問回数	0	103	0	0	0	0	0
	移動支援 サービス	延利用者数	18名	—	—	26名	27名	—	4名
		延訪問回数	18	—	—	133	78	—	4
有償運送事業	延利用者数	—	—	—	78名	699名	43名	112名	
	延訪問回数	—	—	—	287	2,852	210	459	

【訪問入浴介護事業】

○訪問入浴事業（介護保険事業）

○しょうがい者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

在宅で寝たきりの高齢者、しょうがいのある方に簡易浴槽を居室に準備し、介護職員、看護師により身体への負担を最小限に安全な入浴を提供しました。

延利用者数にほとんど増加はないが、延利用回数を増加することが可能となりました。

また、5拠点を2拠点にしたことで、利用状況により地域を柔軟に振り分けることができ、介助方法・内容・衛生面での情報共有が行えました。

拠 点		長 浜	木之本
介護保険事業	延利用者数	173 名	119 名
	延訪問回数	942 回	418 回
市受託事業	延利用者数	30 名	30 名
	延訪問回数	142 回	321 回

【地域密着型介護事業】

○木之本小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型）事業所「ひなたぼっこ」

デイサービス・ホームヘルプ・泊まりを組み合わせたサービス提供により、自宅での生活を継続できるよう支援を行いました。

通所はほぼ毎日定員の9名が利用され、泊りを定期的に利用される傾向にあります。

○認知症対応型（介護予防認知対応型）通所介護事業所 「西浅井ライフハウスあじかまのさと」

認知機能が低下された高齢者が身近な地域の中で生活が継続できるよう支援を行いました。

介護サービス利用の1割減少に比べ、介護予防サービス利用者が約2倍になっており、予防のための早期利用傾向がみられました。

区 分		小規模多機能型
登 録 定 員		18 名
登録者平均		16 名
利用サービス	通所定員9名 (延利用者数)	2,754 名
	訪 問 (延利用者数)	285 名
	泊 り (延利用者数)	337 名

区 分		認知症対応型
定 員		12 名
営業日数		305 日
延利用者数	介 護 サービス	2,383 名
	介護予防 サービス	96 名

【研修会の実施】

職員の資質の向上を目指し、職場内研修をはじめ外部研修会に出席し、職場内での研修内容共有に努めました。

・介護事業課全体研修

- 接遇研修『心地よい対応やサービスの基本 おもてなしの心』
- 人権研修『一人ひとりが大切な存在』
- コンプライアンス研修『介護サービス事業所に求められる法令遵守』

・居宅介護支援事業所

(研 修 内 容)

- ・初任者研修
- ・更新研修
- ・主任介護支援専門員研修
- ・実務従事者研修
- ・主任介護支援専門員フォローアップ研修
- ・認知症ケアプラン・よりそうケア
- ・アセスメント研修
- ・事例検討研修

等

・デイサービスセンター

(研 修 内 容)

- ・湖北認知症ケア・ネットワーク研修
- ・事例研究の手法を学ぶ
- ・認知症介護新任職員研修
- ・感染症対策研修会
- ・記録の方法と視点
- ・対人援助の基本
- ・事業評価のすすめ
- ・甲種防火管理者講習会
- ・運動器の機能向上に関する研修
- ・リスクマネジメント福祉の理念と人権・福祉の動向
- ・認知症研修
- ・高齢者虐待現任研修
- ・管理者としてのリスクマネジメント
- ・通所介護計画書の作り方
- ・職種別研修会

等

・ホームヘルパーステーション

(研 修 内 容)

- ・介護職員のための記録の書き方
- ・管理者キャリアパス対応研修
- ・感染症予防研修
- ・排泄介護・オムツのあて方選び方
- ・行動援護従事者養成研修
- ・認知症研修
- ・皮膚疾患

等

・訪問入浴介護事業所

(研 修 内 容)

- ・入浴方法基本の流れ
- ・感染症の対応・入浴物品の消毒方法
- ・プライバシー保護
- ・オペレーター研修
- ・介護職によるたんの吸引・経管栄養
- ・熱中症について

等

・地域密着型介護事業所

(研 修 内 容)

- ・消毒について
- ・認知症の理解
- ・感染予防研修
- ・安全な送迎とは
- ・口腔ケアについて
- ・食中毒について
- ・ヒヤリハットについて

等

【介護実習生受入】

介護実習生先	受入事業	受入人数	期 間
びわこ学院大学短期大学部	訪問介護	5名	H23. 5. 16～ 5. 20
彦根総合高等学校	訪問介護	1名	H23. 7. 20～ 8. 20
滋賀県立長浜高等学校	訪問介護	22名	H23. 7. 21～ 8. 12
滋賀県立長浜高等学校	通所介護	14名	H23. 8. 17～ 8. 30
シルバー人材センター連合会	訪問介護	2名	H23. 9. 1～ 12. 20
びわこ成蹊スポーツ大学	通所介護	1名	H23. 10. 17～ 10. 21
特別養護老人ホーム 湖北水鳥の里 介護職員養成	訪問介護	9名	H24. 3. 13～ 3. 23
教職員免許法の特例に基づく 介護等体験	通所介護	7名	年間を通し

4. 善意銀行事業

【善意銀行の運営】

○金銭口座

125件 3,351,475円

○物品口座 466件

古切手	82	テレホンカード	9	ベルマーク	16
ペットボトルキャップ	138	割り箸	8	プルタブ	28
書き損じはがき	2	カートリッジ	2	お米	20
食料品	17 (お茶・乾物・菓子類・豆類・野菜・果物他)				
介護用品	51 (紙おむつ・紙パンツ・尿とりパット・車椅子・老人車 ・車椅子用クッション・ケアシート・ポータブルトイレ他)				
日常生活用品	58 (衣料品・肌着・タオル・雑巾・石鹸、ソープ類・洗剤類 ・殺菌消毒剤・毛布、シーツ等寝具類・マット他)				
その他	25 (布絵本・点訳絵本・布・毛糸・手工芸品・雛人形・ケース ・エンシュア・雨具・文具・博覧会入場券・記念切手他)				
備品等	10 (電動ベッド・シャワーチェア・自転車・ゲーム用品・机 ・マイクアンプ・ビデオ・座布団他)				

5. 福祉ステーション・デイサービスセンター管理運営

【長浜東部福祉ステーション、長浜北部福祉ステーション、高月福祉ステーション、木之本福祉ステーション、浅井デイサービスセンター、びわこデイサービスセンター、湖北デイサービスセンター、西浅井デイサービスセンターの指定管理運営】

【浅井福祉センター、びわこ高齢者福祉センターの施設管理運営】

地域の福祉事業の拠点として運営を行いました。

○東部福祉ステーション (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
保健事業	30	492
研修・視察・学習会	28	269
交流会	19	193
会議	1	98
講演会	5	104
施設貸出	27	625
外出支援	11	136
施設管理ボランティア	6	109
デイサービスボランティア	0	0
入浴サービス	49	761
電子浴サービス	—	842
合計	176	3,629

○北部福祉ステーション (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
保健事業	20	427
研修・視察・学習会	28	53
交流会	41	474
会議	3	112
講演会	1	48
施設貸出	42	375
外出支援	12	227
施設管理ボランティア	15	15
デイサービスボランティア	284	284
入浴サービス	49	618
電子浴サービス	—	690
合計	495	3,323

○高月福祉ステーション (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
自主事業	247	2,711
団体利用	301	3,718
合 計	548	6,429

○木之本福祉ステーション (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
自主事業	111	790
団体利用	335	2,301
合 計	446	3,091

○湖北デイサービスセンター (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
自主事業	573	9,878
団体利用	247	5,014
合 計	820	14,892

○浅井福祉センター (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
自主事業	112	1,321
団体利用	388	3,932
合 計	500	5,253

○びわ高齢者福祉センター (利用状況)

	件数	利用者数 (名)
自主事業	85	627
団体利用	526	5,904
合 計	611	6,531

【長浜市社会福祉センターの運営】

(貸出利用回数)

月	相 談	団 体	行 政	その他	合 計
4月	21	32	3	8	64
5月	21	33	1	6	61
6月	23	22	6	10	61
7月	22	30	2	9	63
8月	22	28	0	11	61
9月	22	22	0	9	53
10月	23	22	1	8	54
11月	23	15	2	7	47
12月	21	23	0	7	51
1月	20	17	0	4	41
2月	22	20	1	9	52
3月	23	30	5	12	70
合 計	263	294	21	100	678

6. 東日本大震災支援

平成23年3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害を受けた地域への支援として、義援金の受付、募金箱の設置、支援物資の搬送を実施しました。

【義援金の受付】

受付開始日 : 平成23年3月14日（月）より
 受付場所 : 社会福祉協議会本所・支所
 受付額 : 668件 148,910,896円（平成23年3月31日現在）
 514件 93,916,582円（平成24年度受付実績）
 1,182件 242,827,478円（平成24年3月31日現在）

【募金箱の設置】

設置日 : 平成23年3月15日（火）より
 設置場所 : 社会福祉協議会本所・各支所・各福祉ステーション
 長浜市役所本庁・各支所
 金額 : 1,692,860円（平成23年3月31日現在）
 1,491,555円（平成24年度受付実績）
 3,184,415円（平成24年3月31日現在）

【街頭募金】

実施日 : 平成23年3月16日（水）より
 実施方法 : 社会福祉協議会関係団体等ボランティアによる街頭募金
 実施場所 : 駅前・大型店舗等
 金額 : 56件 4,491,613円（平成24年3月31日現在）

【支援物資の搬送】

市民も皆さまより、届けていただいた支援物資666箱を被災地の要請により届けました。

	送付先	支援物資	経緯
4/29	福島県 (県社会福祉協議会)	おむつ・タオル ・粉ミルク・缶詰等 168箱	福島県社会福祉協議会より ●県内保育園および福島県社会福祉事業団よりおむつ、タオル等の要請があり。 ●余震でいわき市内で断水が発生し、市内断水地域の特別養護老人ホーム等10施設へ水の支援要請があり。
4/29	福島県 (社会福祉事業団)	おむつ・生理用品等 87箱	
4/15	いわき市 (10施設)	水 110箱	
4/15	気仙沼市 (市社会福祉協議会)	水等 103箱	気仙沼市社会福祉協議会より、水の支援要請あり。
4/29	南相馬市 (グループホーム3施設)	おむつ・タオル・缶詰 ・ウェットティッシュ等 174箱	全国グループホーム団体連合会ホームページに支援物資の募集あり。 福島県北浜エリアの取りまとめの認知症高齢者グループホーム田園より、原子力発電所30キロ圏外の3施設が運営を続けているが、物流が不足のため支援要請あり。

4/28	相馬市	軍手・使い捨てカイロ等 24箱	米原市より相馬市に支援物資の搬送にあたり、米原市社協より軍手等のニーズがある旨情報を得、米原市を通じて搬送を依頼。
------	-----	--------------------	---

7. その他の事業

【日本赤十字社長浜市地区】

日本赤十字社の社資募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。

区 分	長浜市地区
	金 額 (円)
個人社資・寄附金	13,329,464
法人社資	1,119,000
合 計	14,448,464

【長浜市共同募金委員会】

赤い羽根共同募金（一般募金）および歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。

○赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	長浜支会
	募 金 額 (円)
戸 別 募 金	10,326,820
街 頭 募 金	1,088,691
法 人 募 金	848,000
学 校 募 金	432,884
職 域 募 金	831,511
イ ベ ン ト 募 金	49,592
そ の 他 の 募 金	269,031
合 計	13,846,529

○歳末たすけあい運動の推進

区 分	長浜支会
	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	7,123,400
合 計	7,123,400

○東日本大震災支援

【職員の派遣】

滋賀県社会福祉協議会の調整（全31クール）により被災地に職員派遣を行いました。

派遣期間	派遣先	業務内容	クール	職員氏名
H23.04.07(木) ～H23.04.14(木)	宮城県 気仙沼市 南三陸町	緊急小口資金特例貸付相談業務 ボランティア活動支援	第6	清水学
H23.04.15(金) ～H23.04.22(金)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第8	古脇ひ
H23.04.27(水) ～H23.05.08(日)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第11-12	浅田か
H23.05.05(木) ～H23.05.12(木)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第13	古脇ひ
H23.05.09(月) ～H23.05.16(月)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第14	鈴木良
H23.05.13(金) ～H23.05.20(金)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第15	森秀子
H23.08.08(月) ～H23.08.16(火)	宮城県 南三陸町	災害ボランティアセンターの 運営支援	第29	山岡伸

滋賀県社会福祉協議会によるボランティアバス配車により被災地に職員派遣を行いました。

H23.04.18(月) ～H23.04.21(木)	宮城県 亘理町	支援ボランティア		浅田か
H23.06.06(月) ～H23.06.09(木)	宮城県 東松島市	支援ボランティア		鈴木妙

○台風12号による被害に対する支援

【職員の派遣】

滋賀県社会福祉協議会の調整（全9クール）により被災地に職員派遣を行いました。

派遣期間	派遣先	業務内容	クール	職員氏名
H23.09.18(日) ～H23.09.22(木)	和歌山県 日高川町	災害ボランティアセンターの 運営支援 美山サテライトの支援	第4	浅田か
H23.10.02(日) ～H23.10.07(金)	和歌山県 新宮市	災害ボランティアセンターの 運営支援	第8	山口毅

【義援金の受付】

受付場所 : 社会福祉協議会本所・支所

受付額 : 13件 441,711円 (和歌山県・奈良県・三重県)

